







題材構想

題材名			家族のために作って楽しく、作っておいしく(22時間)		評価項目と方法		
題材の目標			学習活動		B 標準	A 標準	
過程	場面	時間	家族ふれ合い便		主な支援及び留意点		
		1	2学期の家庭科の学習について確認する。	 はコメントのやり取りを示す。  は『家族ふれ合い便』や『家族ウォッチング』の授業への導入を示す。	仕事をする中で家族の触れ合いが持てた経験や実態調査の結果に基づき、家庭生活をよりよくするために自分ができることを広げていくことを知らせる。 ~をしよう・したいという思い ~を作る技能、家庭生活への能力 家族ふれ合い便の活用の仕方について説明する。		
		家庭	家庭にある、食生活に関わる布製品を見つけ、家族がどのように使っているかを観察する。 <i>家族ウォッチング</i>	1 	観察して分かったことや気付いたこと、家族に聞いて分かったことを 家族ふれ合い便 に記録するようにさせる。	食生活に関わる布製品を見つけ、観察して分かったことを記録している。 《関》【家族ふれ合い便 1：観察欄】	食生活に関わる布製品を複数見つけ、観察して分かったことを記録している。
		学校 2・3	持ち寄った物やサンプルを見ながら、それぞれの用途を紹介し合う。 布製品を見たり触れたりし、布の特徴について話し合う。ミシン縫いの特徴を調べる。持ち寄った物やサンプルでテーブルコーディネートをし、家で観察して気付いたことなどを話し合いながら、自分の家にあるといいなと思う物を考える。	1  1 	サンプルとして織物、編み物、フェルトの布製品、また、手縫いの物、ミシン縫いの物を用意しておく。 製作物のヒントにつながるように、サンプル等を食卓用・買い物用・整理用・料理用に分ける。 紙との比較で布の特徴をつかませるとともに、布の種類別の特徴をつかませる。 手縫いの物と比較させてミシン縫いのよいところに気付くようにする。 自分の家にあるといいなと思う物を考えさせ、家族に呼びかけるような形で 家族ふれ合い便 に記入させておく。	布の種類や性質、ミシン縫いの特徴を理解してまとめている。 《知》【家族ふれ合い便 1：ワーク欄】 食生活に関わる小物に興味を持ち、自分の家にあるといいと思う物を考えている。 《関》【家族ふれ合い便 1：自分の気持ち欄】	布の種類や性質、ミシン縫いの特徴を、紙との違いや手縫いとの違いから理解してまとめている。 食生活に関わる小物に興味を持ち、家族の生活から考えて自分の家にあるといいと思う物を考えている。
家庭	食生活を楽しくする小物のアイデアを家族に相談する。	1 	家族ふれ合い便 に家族のアイデアや願いを記入してもらうようにする。また、相談に乗ってもらって考えたことも記入させておく。	家族の思いを取り入れて、自分の作りたい物を決めている。 《関》【家族ふれ合い便：自分の気持ち欄】	家族の思いをもとに自分の考えをまとめ、作る物を決めている。		

家庭生活をよりよくするための課題を持ち、簡単な小物作りや調理を通して知識や技能を身に付けることができるようにし、課題の解決に生かすことができるようにする。

小題材《作って楽しく使おう》

【関】布でできた物に関心を持ち、家族の思いを取り入れて製作した物を、家庭で活用してもらうために家族に働きかけようとする。

【創】家庭生活に役立つ物を考えて製作計画を立て、目的に応じた縫い方を工夫する。

【技】ミシンを正しく安全に使い、直線縫いができる。

【知】ミシン縫いの特徴やミシンの安全な使い方がわかる。

小題材《作っておいしく食べよう》

【関】日常の食生活に関心を持ち、調和のとれた食事を家族と楽しくしようとする。

【創】ご飯とみそ汁を作る手順や楽しく食事をするための工夫を考えて、調理計画を立てる。

【技】米とみその特徴を理解し、ご飯とみそ汁の調理ができる。

【知】食品の栄養的特徴と調和のよい食事のとりかたがわかる。

家族ふれ合い便のマーク



観察欄 「家族ウォッチング」によって気付いたことや分かったことを記入する



ワーク欄 調べたり試したりする学習活動の結果を記入する。



ワーク欄 考えたり話し合ったりする学習活動の結果を記入する。



自分の気持ち欄 自分の考えや思いなどを記入する。



家族からのメッセージ

考える	学校	4	<p>作って楽しく</p> <p>食生活を楽しむ小物を作る計画を立てる。</p> <p>食卓コース 〔ランチョンマット・コースター等〕</p> <p>買い物コース 〔ナップザック・手提げ袋等〕</p> <p>整理コース 〔ウォールポケット等〕</p> <p>料理コース 〔エプロン・なべつかみ等〕</p>	2	<p>製作キットの説明書や教科書を参考に自分が作る物の計画を立て、同じコースの友達と手順を確かめ合うようにする。</p> <p>ミシン縫いの特徴に触れ、ミシンの直線縫いを取り入れた実行計画を立てられるようにする。</p> <p>実行計画を家族ふれ合い便に記入させる。</p>	<p>製作の順序、縫い方、飾りなどを工夫して計画を立てている。</p> <p>製作の順序、製作物の使い方に合った縫い方、飾りなどを工夫し、家の中での使われ方を想像して計画を立てている。</p> <p>《創》【家族ふれ合い便 2：実行計画表】</p>
	学校	5 ・ 6 ・ 7	<p>ミシンの安全な取り扱い方、基本的な操作について知り、直線縫いの練習をする。</p>	<p>3 </p> <p>2</p> <p>3 </p> <p>ミシンの出し入れ、ミシン針の付け方、下系の巻き方・セットの仕方、上系のかけ方、下系の出し方を示範する。</p> <p>直線縫いや角の曲がり方、糸の始末の仕方を示範する。</p> <p>ミシンの取り扱いと操作についてチェック表で自己チェックし、ミシン縫いの箇所を増やすことができそうか、計画の見直しをさせる。</p> <p>実行前の気持ちを家族ふれ合い便に記入させる。</p>	<p>ミシンを正しく安全に取り扱って、直線縫いをする事ができる。</p> <p>《知・技》【家族ふれ合い便 3：チェック表、実習】</p> <p>どの部分をミシン縫いにすることができるか、縫い方を考え、手縫いとミカを比べ、計画を見直している。</p> <p>《創》【家族ふれ合い便 2：実行計画表】</p>	
家庭		<p>小物作りの計画を見せて、ミシンの初体験談や実行前の気持ちを伝える。</p>	<p>3 </p> <p>3 </p> <p>家族からの励ましを家族ふれ合い便に励ましのコメントを記入してもらうようにする。</p>	<p>家族からの励ましで、製作意欲を高めている。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 3：自分の気持ち欄】</p>	<p>家族からの励ましを生かそうと、計画を見直している。</p>	
やってみる	学校	8 ・ 9 ・ 10	<p>計画に従って製作する。</p>	<p>4 </p> <p>布を裁つ時の注意点、布の表・裏、印をつけると縫いやすいことを、児童の気持ちをもとに場面に応じて助言する。</p> <p>完成後の感想を家族ふれ合い便に記入させるとともに、完成作品を友達とデジタルカメラで撮り合わせ、貼付させる。</p>	<p>計画に従って縫い、製作することができる。</p> <p>《技》【実習、作品】</p>	
	家庭	<p>作品を家族が使っている様子を観察する。</p> <p>家族ウォッチング</p>	<p>4 </p> <p>4 </p> <p>家庭での試用期間を設け、観察を通して気付いたことと使ってみての家族の感想を家族ふれ合い便に記入し合うようにする。</p>	<p>家族が使う様子を観察して気付いたことを記録している。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 4：観察欄】</p>	<p>作品の活用を家族に呼びかけ、使う様子を観察して気付いたことを記録している。</p>	
つかむ	学校	11	<p>これまでの家族ふれ合い便のやり取りを振り返って感想をまとめ、互いに発表し合って気付いたことをまとめる。</p>	<p>4 </p> <p>自分の作った物が日常生活に役立つ喜びや、そのことで家族と心が通い合うことのよさを、発表と話し合いを通して確認させたい。</p>	<p>自分の作った物が家族に役立つ喜びを感じている。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 4：自分の気持ち欄、発表】</p>	
	家庭	<p>自分の家の食事の組み合わせや食事時の雰囲気について調べる。</p> <p>家族ウォッチング</p>	<p>5 </p> <p>観察を通して、いいと思うことやもっとこうしたらいいのではと思うことなど、気付いたことを家族ふれ合い便に記入させる。</p>	<p>日常の食事に関心を持って調べ、気付いたことを記録している。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 5：観察欄】</p>	<p>日常の食事に関心を持って調べ、よい点や問題点を気付いて記録している。</p>	
学校	12	<p>食事の組み合わせについて調べたことを発表する。</p>	<p>家で食事や給食をもとに、食事が主食・主菜・副菜・汁物などの組み合わせ</p>			

	13	なぜ食べるのか、なぜ組み合わせることが大切なのかを考える	5 	<p>から成り立っていることに気付くように分類していく。</p> <p>活動する、病気を防ぐ、成長するなどのために食べるということと関連付けて、食品の栄養的特徴と体内での主な働きにより3つのグループに分けられることを押さえておく。</p> <p>食事調べの結果とそのまとめから、ご飯とみそ汁が組み合わせになることが多く、さまざまなおかずと合うことからずっと食べられてきたことに気付かせ、実習への意欲付けを図りたい。さらに、総合的な学習で自分たちが作っている米を使うことで実習意欲を高めたい。</p> <p>米とご飯を見比べたり食べ比べたりさせて、米からご飯への変化に関心を持たせたい。</p>	<p>食品の栄養的特徴と体内での働きにより、食品を仲間分けする方法が分かる。</p> <p>《知》【家族ふれ合い便 5：観察欄、発言】</p> <p>食品の栄養的特徴と体内での働きにより、食品を仲間分けする方法が分かり、仲間分けできる。</p> <p>仲間分けした食品を組み合わせる必要性が分かる。</p> <p>仲間分けした食品を組み合わせる必要性が分かり、ご飯とみそ汁の組み合わせのよさに気付くことができる。</p> <p>《知》【発言】</p> <p>米とご飯の違いから、米からご飯への変化について必要の条件を考えている。</p> <p>《関》【発言】</p>
家庭		<p>ご飯の炊き方について、自分の家のやり方を観察したり、聞いたりする</p> <p> 家族ウォッチング</p>	6 	<p>米の種類、米の洗い方、米と水の分量、浸水時間に目を向けさせて、わかったことや気付いたことを家族ふれ合い便に記入させる。</p>	<p>ご飯の炊き方について与えられた視点に沿って見聞きし、分かったことを記録している。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 6：観察欄】</p>
考える	学校	<p>14</p> <p>作っておいしく</p> <p>ご飯の炊き方について調べたことをもとに、おいしいご飯を炊くための課題を決め、試す計画を立てる。</p>	6 	<p>おいしいご飯を炊くために特に自分が試したいことを、米の洗い方・米と水の分量・浸水時間から選んで課題とさせる。各グループを2つに分けて、対照実験ができるように計画を立てさせる。</p>	<p>おいしいご飯を炊くための課題を試す計画を考えている。</p> <p>おいしいご飯を炊くための課題を試す計画を、対照実験の仕方を工夫して考えている。</p> <p>《創》【発言】</p>
	学校	<p>15・16</p> <p>おいしいご飯の炊き方を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の洗い方 ・米と水の分量 ・浸水時間 <p>グループのご飯を試食し、比較して気付いたことをまとめる。炊き方の手順やポイントを全体で話し合い、まとめる。</p>	6 	<p>自分のグループの対照実験結果を比べ、米粒の大きさや味、やわらかさの違いなど気付いたことを話し合わせる。</p> <p>実験結果を発表し聞き合うことで、おいしいご飯の炊き方のポイントをつかまる。</p>	<p>ご飯の炊き方に関心を持ち、協力してグループの課題について調べようとしている。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 6：ワーク欄、炊飯実験、発言】</p> <p>おいしいご飯の炊き方がわかる。</p> <p>洗米・水加減・浸水時間・火加減による炊き具合の違いが分かり、おいしいご飯の炊き方が分かる。</p> <p>《知》【家族ふれ合い便 6：ワーク欄】</p>
家庭		<p>みそ汁について、おいしく作るための工夫や作り方を聞き取りしたり、食べている家族の様子を察する。</p>	7 	<p>みそ汁の分量、みその入れ方、具の切り方・入れ方に目を向けさせて、分かったことや気付いたことを家族ふれ合い便に記入させる。</p>	<p>みそ汁の作り方について、与えられた視点に沿って見聞きし、分かったことを記録している。</p> <p>《関》【家族ふれ合い便 7：観察欄】</p>
学校	17	観察して分かったことをもとに、おいしいみそ汁の作り方をまとめる。	7 	<p>調べたことの中から、類似性のあることについては共通に取り入れていくようにする。</p>	<p>自分の家のみそ汁作りや友達の発表を参考に、おいしいみそ汁について自分な</p>

				だしの取り方、みその扱い方、材料の切り方や入れ方などポイントになることは全体で押さえておく。	ついて自分なりに考え、りに考えたことを提案している。
学校	18	ごはんのみそ汁の実習計画を立てる。	8 	みそ汁の試し作りを振り返らせただ上で、2つの調理の同時進行に向けて準備・作業・試食・片づけの見通しを持たせたい。一人一人が責任を持って意欲的に取り組めるように、仕事分担をしっかりとさせる。実習に臨む気持ちや意気込みを家族ふれ合い便に記入させる。	《創》【話し合いの様子】 ごはんのみそ汁の2つの調理が効率的にできるように、見通しを持って手順や分擔を工夫している。
家庭		ごはんのみそ汁の作り方を観察したり、学校で話し合ったりして立てた実習計画を見てもらう。	8 	家族ふれ合い便に励ましのコメントを記入してもらうようにする。	《創》【話し合いの様子】 実習への緊張感や期待感を自分なりに表現し、観察して分かったことの生かし方を書いている。
やってみる	学校	19・20 ごはんのみそ汁の調理実習をする。	8 9 	安全に気を付けさせ、班で協力して能率的に取り組めるように声をかける。実習後に、計画通りに進められたか、でき具合や分量はどうか、自分や友達のよさは何かなどを振り返らせる。実習の感想とともに、これから計画する「家族との楽しい食事会」への抱負も家族ふれ合い便に記入するように促す。	班で協力して能率的にご飯のみそ汁を作ることができている。
	家庭	実習の感想や食事会への抱負を伝える。	9 	家族ふれ合い便に食事会への希望や励ましのコメントを記入してもらう。また、食事会を計画する意気込みを記入させる。	《技》【実習、家族ふれ合い便 8：チェック表】 自分の頑張りや友達との協力、食事会への抱負を具体的に書いている。
生かす	学校	21 家族との楽しい食事のために自分にできることを考え、実践計画を立てる。	10 	これまでの小物製作や調理実習でうまくいったところを生かし、うまくいかなかったところは工夫を加えて、家族と楽しく食事をする計画を立てさせる。友達の計画のよいところは取り入れるように促す。計画に込めた家族へ伝えたい気持ちを家族ふれ合い便に記入させる。	家族と楽しく食事をするための計画を自分なりに工夫して立てている。
	家庭	実践計画を見せて、実践予定日を相談するとともに、実行前の自分の気持ちを伝える。計画を実践する。	10 11 	家族ふれ合い便に、実践計画に対する励ましやアドバイスを記入してもらうようにする。家族ふれ合い便に、実践後の感想を記入し、家族からもコメントを記入してもらう。	《創》【家族ふれ合い便 10：実行計画表、発表】 食事会の準備や実践を通しての、家族のたしめ、自分の頑張りを書いている。
学校	22 家族ふれ合い便の自分の感想と家族からのコメントを中心に実践報告をし、学習のまとめをする。	12 	自分たちの実践が家族に喜ばれ、期待されていることを確認し、家族の一員としての自覚を持って生活していこうとする意欲を持たせられるようにしたい。	家族のためにできることを継続したり、見つけたり、工夫を加えて実行しようとする意欲を持っている。	